

日蓮大聖人御書全集

うえのどのごへんじ

上野殿御返事

ひわかごぜんたんじょう　こと

（日若御前誕生の事）

新版
1902

うえのどのごへんじ ひわかごぜんたんじょう こと
上野殿御返事（日若御前誕生の事）

弘安3年（'80）8月26日 59歳 南条時光
こうあん ねん がつ にち さい なんじょうときみつ

おなご もん 開 おのこい いえ 継 にほんこく し
女子は門をひらく、男子は家をつぐ。日本国を知つても、

こ たれ 継 たら たいせん 満 こ
子なくば誰にかつがすべき。財を大千にみてても、子なく

たれ 譲 ば 誰にかゆずるべき。されば、外典三千余卷には、子ある人
ちようじや ないてんごせんよかん こ ひと びんにん ひと

を長者という。内典五千余卷には、子なき人を貧人という。

おなごひとり おのこひとり てん にちがつ ち
女子一人、男子一人。たとえば、天には日月のごとし、地

とうざい 象 とり ふた 羽 くるま ふた 輪
には東西にかたどれり。鳥の二つのはね、車の二つのわな

り。されば、この男子をば日若御前と申させ給え。くわし
おのこい ひわかごぜん もう たま 詳

くは、またまた申すべし。
もう

こうあんさんねんはちがつにじゅうろくにち

弘安三年八月二十六日

うえのどのごへんじ

上野殿御返事

日蓮 にちれん

花押 かおう